

サウジアラビア

Kingdom of Saudi Arabia

	2013年	2014年	2015年
①人口：3,102万人（2015年）			
②面積：214万9,690km ²			
③1人当たりGDP：2万813米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	2.7	3.6	3.4
⑤消費者物価上昇率（%）	3.5	2.7	2.2
⑥失業率（%）	11.7	11.7	11.5
⑦貿易収支（10億サウジ・リヤル）	834.6	631.7	180.0
⑧経常収支（10億サウジ・リヤル）	507.9	288.4	△200.5
⑨外貨準備高（ネット） （10億サウジ・リヤル）	2,824.1	2,875.3	2,508.9
⑩対外債務残高	n.a.	n.a.	n.a.
⑪為替レート（1米ドルにつき、 サウジ・リヤル、期中平均）	3.75	3.75	3.75

〔注〕2015年は暫定値。⑤：2007年＝100、⑥：15歳以上のサウジアラビア人、⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①④～⑨：経済企画省総合統計庁、②：中央情報局（米国）、③⑩：IMF

■ 成長率は3.4%と前年水準を維持

2015年のサウジアラビア経済は、前年から続く油価低迷による歳入減や戦費増大などの影響を受けたが、実質GDP成長率は3.4%と前年とほぼ同水準を維持した。部門別にみると、原油増産などの効果で石油部門が3.1%と伸び、非石油・政府部門も3.3%、同民間部門も3.7%といずれも伸びた。名目GDP成長率の需要項目別内訳をみると、個人消費（民間最終消費支出）が8.7%増と成長に寄与したが、他の項目は総じてマイナスとなった。

2015年の政府決算は、歳出9,750億サウジ・リヤル（以下、リヤル）に対して歳入が6,080億リヤルと2年連続の赤字で、その額は3,670億リヤルとなり、前年（655億リヤル）を大きく上回った。石油収入が歳入の約7割を占めることから油価下落の影響は大きく、ガソリン代や水・電力の公共料金の値上げが行われ、優先順位の低いプロジェクトの延期や中止などもみられた。

2016年の政府予算も歳出8,400億リヤル、歳入5,138億リヤルで3,262億リヤルの大幅な赤字予算編成となった。2016年4月には石油依存からの脱却という国の方針を掲げた「サウジアラビア・ビジョン2030」を発表、続く5月には水・電力省解体などの大規模な省庁再編や閣僚の交代を実施し、さらに6月には「国家変革プログラム

（NTP2020）」を発表するなど、大幅かつ戦略的な国家改造計画が次々と打ち出されている。

■ 油価下落で輸出は大幅減

2015年の貿易（通関ベース）は、油価下落の影響を受けて、輸出が前年比40.6%減の7,633億1,300万リヤルと、2010年来初めて1兆リヤルを下回る大幅減となった。輸入は0.5%増の6,550億3,300万リヤルとなった。

輸出を品目別にみると、最大シェアの鉱物資源・同製品（5,746億7,700万リヤル）が前年比46.2%減となり、輸出額全体を大きく押し下げる要因となった。2015年の平均油価（アラビアン・ライト）が1バレル当たり49.1ドルと、前年の97.2ドルから半減したためである。

国別にみると、2014年に最大の輸出先であった米国が3位（805億2,500万リヤル、前年比50.4%減）となり、中国が1位（920億6,900万リヤル、42.7%減）、続いて日本（806億8,300万リヤル、48.6%減）の順だった。

輸入を品目別にみると、機械、電気製品・部品が1,783億2,100万リヤル（前年比4.3%増）で1位、次いで輸送機器が1,205億1,600万リヤル（11.0%増）だった。

国別の順位は2014年と変わらず、中国からの輸入が最大（923億9,800万リヤル、前年比6.1%増）、次いで米国（896億7,800万リヤル、5.8%増）、ドイツ、日本、韓国と続いた。日本からの輸入は0.1%減の372億8,600万リヤルで、15.2%増の韓国（372億5,100万リヤル）とほぼ同額となった。

■ 対内直接投資は7年ぶりに前年比増加

2015年の対内直接投資額は、前年比1.6%増の305億2,900万リヤル（国際収支

表1 サウジアラビアの需要項目別名目GDP成長率

	2014年	2015年				2016年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
名目GDP成長率	1.3	△14.3	△14.0	△12.8	△16.2	△14.2	△11.5
民間最終消費支出	8.5	8.7	14.9	11.2	2.9	6.2	2.9
政府最終消費支出	17.6	△3.1	△3.8	11.7	1.4	△20.8	△30.2
国内総固定資本形成	7.8	△2.3	1.9	2.7	5.2	△16.7	△20.1
財貨・サービスの輸出	△8.5	△38.5	△43.4	△35.7	△39.8	△34.1	△25.5
財貨・サービスの輸入	11.1	△1.9	△5.4	8.8	△10.6	0.9	△14.4

〔注〕2015年、2016年は暫定値。

〔出所〕経済企画省総合統計庁

表2 サウジアラビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万サウジ・リヤル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	1,284,122	763,313	100.0	△40.6
鉱物資源・同製品	1,068,088	574,677	75.3	△46.2
化学製品	73,370	57,951	7.6	△21.0
プラスチック製品	70,523	57,284	7.5	△18.8
卑金属・同製品	14,128	13,845	1.8	△2.0
食料品	13,405	13,611	1.8	1.5
電気製品・機器	3,110	3,573	0.5	14.9
輸入総額 (CIF)	651,876	655,033	100.0	0.5
機械、電気製品・部品	171,011	178,321	27.2	4.3
輸送機器	108,610	120,516	18.4	11.0
卑金属・同製品	79,759	64,473	9.8	△19.2
化学製品	56,276	55,014	8.4	△2.2
野菜類	34,490	33,857	5.2	△1.8

[注] 2015年は速報値。

[出所] 経済企画省総合統計庁

表3 サウジアラビアの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位:100万サウジ・リヤル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	1,284,122	763,313	100.0	△40.6
中国	160,680	92,069	12.1	△42.7
日本	156,821	80,683	10.6	△48.6
米国	162,460	80,525	10.6	△50.4
インド	113,828	72,052	9.4	△36.7
韓国	123,557	66,099	8.7	△46.5
輸入総額 (CIF)	651,876	655,033	100.0	0.5
中国	87,122	92,398	14.1	6.1
米国	84,730	89,678	13.7	5.8
ドイツ	47,093	46,116	7.0	△2.1
日本	37,306	37,286	5.7	△0.1
韓国	32,336	37,251	5.7	15.2

[注] 2015年は速報値。

[出所] 経済企画省総合統計庁

ベース、ネット、フロー)で、2008年以來7年ぶりの増加となった。特にキングアブドゥッラー経済都市(KAEC)の工業団地では、米マーズ(菓子製造)や地場との合弁企業によるボルボ・トラック工場などが操業しているほか、2016年1月にインドのオーロピンド・ファーマが製薬工場を建設するなど、近年外資の工場建設が進んでいる。

欧米企業の投資は引き続き活発で、米ゼネラル・エレクトリック(GE)は2015年にリサーチセンターの開業やサウジアラビア電力公社(SEC)との発電所保守の合弁契約などを進め、2016年5月にはサウジアラビア産業投資公社(SAIIIC)と10億ドル規模の投資協定に署名した。同月、独シーメンスはサウジアラビア製ガスタービン第1号を完成させた。

中国からは中国工商銀行(ICBC)がサウジアラビアでは初めて、中東では5番目となる支店を2015年6月に開設し、2016年1月には習近平国家主席が同国を訪問した。韓国も5月に黄教安首相が訪問し、医療や再生エネルギー分野での協力を表明するなど、活発な動きをみせた。

2015年の対外直接投資は、前年比2.3%増の207億100

表4 日本の対サウジアラビア主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	7,631	6,828	100.0	△10.5
輸送用機器	3,813	3,766	55.2	△1.3
自動車	3,414	3,503	51.3	2.6
乗用車	2,349	2,480	36.3	5.6
バス・トラック	1,058	1,003	14.7	△5.2
自動車の部分品	259	250	3.7	△3.5
原料別製品	1,592	1,027	15.1	△35.5
鉄鋼	939	440	6.5	△53.1
ゴム製品	311	293	4.3	△5.6
一般機械	1,376	1,217	17.8	△11.6
原動機	342	327	4.8	△4.5
ポンプ・遠心分離機	340	333	4.9	△2.0
電気機器	430	394	5.8	△8.4
輸入総額 (CIF)	47,800	25,081	100.0	△47.5
鉱物性燃料	46,793	24,345	97.1	△48.0
原油および粗油	43,848	22,368	89.2	△49.0
化学製品	632	443	1.8	△30.0
有機化合物	492	347	1.4	△29.6
原料別製品	227	185	0.7	△18.7
非鉄金属	226	183	0.7	△18.9

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」をドル換算

万リヤル(国際収支ベース、ネット、フロー)だった。乳製品大手のアル・マライは、米カリフォルニアに3,180万ドルで牧草用地1,790エーカーを購入した。アクア・パワーはモロッコの太陽光発電や風力発電事業に参画し、オマーンでも三井物産とのコンソーシアムで天然ガス発電を受注するなどの実績を挙げている。

■日本との貿易は輸出入ともに減額

日本の「貿易統計(通関ベース)」をドル換算すると、2015年の日本の対サウジアラビア貿易は、輸出が68億2,800万ドル(前年比10.5%減)、輸入が250億8,100万ドル(47.5%減)の大幅減となった。輸入では特に97.1%を占める鉱物性燃料が、48.0%減の243億4,500万ドルとなったことが影響した。

■日系企業も投資や受注を進める

2016年6月現在の進出日系企業数は85社(代理店への駐在員派遣を含む。ジェトロ調べ)となり、プロジェクト受注や新会社・工場設立を進めている。

三菱重工業は2015年7月にマディーナ都市開発プロジェクトの地域冷房プラント用大型ターボ冷凍機80台を受注し、約1.6平方キロのエリアへの冷水供給を行う。日本郵船は2015年9月にキングアブドゥッラー港で、年間60万台規模の完成車輸入が可能な専用ターミナル運営のため、合弁企業設立契約書をボーツ・ディベロップメントと締結した。日立製作所は事業拡大のため、リヤド支店を日立プラントサウジアラビアと統合し、2015年10月より新たに日立サウジアラビアとして営業を開始した。